

MR 816^{csx}

MR 816^x

ADVANCED INTEGRATION DSP STUDIO



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

この製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

警告

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの（PA-30 または
ヤマハ推奨の同等品）を使用する。
（異なった電源アダプターを使用すると）故障、発熱、
火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを
きれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。



禁止

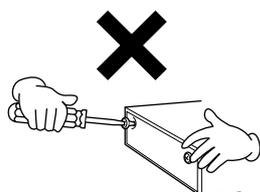
電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改修したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

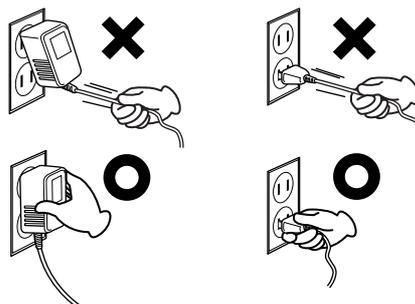
注意

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。





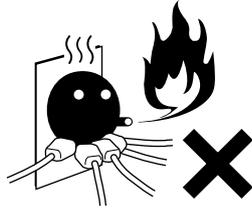
必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

たこ足配線をしない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



設置



禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しない。

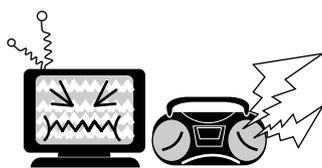
本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。

楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

指定のラックを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。



禁止

本体の放熱ファンや放熱用スリットに本などを置いて、ふさがない。本体内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

接続

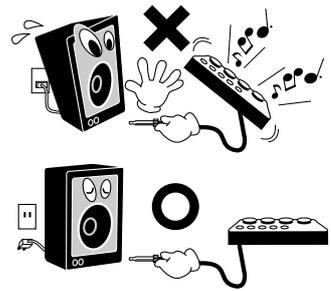


必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さら

に、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。

感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。

本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。

使用時の注意



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。

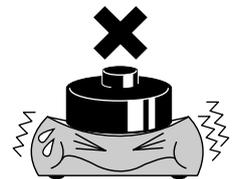
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。



データの保存

作成したデータの保存とバックアップ



必ず実行

・ 本体の内部メモリーに設定を保存するには、コンピューター上の MR Editor での操作が必要です。MR Editor と通信して本体をお使いの場合は、MR Editor 上で本体の設定（シーン）のストアおよび呼び出しを行なうことで、本体の内部メモリーに設定が保存されます。さらに MR Editor の [ファイル] メニューの [保存] を実行することにより、Editor ファイルとしてコンピューターに本体の設定（シーン）が保存されます。Cubase と通信して本体をお

使いの場合は、本体の内部メモリーに設定を保存する方法はありません。Cubase のプロジェクトファイルとしてコンピューターに設定を保存します。コンピューターに保存した Editor ファイルやプロジェクトファイルは、故障や誤操作などのため失われる場合があるので、外部メディアなどにバックアップとして保存しておくことをおすすめします。

・ コンピューターなしで本体をお使いの場合、本体で編集した設定を保存するときは、コンピューターと本体を接続し、MR Editor を起動後、すぐに Editor 上でシーンのストア（保存）を行なってください。本体内の設定がシーンとして MR Editor および本体にストア（保存）されます。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源スイッチを切った状態（電源スイッチが「STANDBY」の状態）でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

* この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ご注意

- ・ セットアップガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社（以下「ヤマハ」）が所有します。
- ・ このセットアップガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ Steinberg および Cubase は、Steinberg Media Technologies GmbH 社（以下「Steinberg」）の登録商標です。
- ・ この製品は、Steinberg およびヤマハが著作権を有する著作物や Steinberg およびヤマハが第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや音楽データなどのコンテンツを含みます。Steinberg およびヤマハの許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
- ・ Steinberg、ヤマハおよび第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Mac および Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ 「ADAT」は、米国および他の国々で登録されたアレシス社の商標です。

- ・ FireWire および FireWire シンボルは、米国および他の国々で登録された Apple, Inc. の商標です。FireWire ロゴは、Apple, Inc. の商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。



はじめに

このたびは、アドバンスドインテグレーションディーエスピースタジオ MR816 CSX/MR816 X をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。MR816 CSX/MR816 X は、Cubase などのコンピューター上の DAW ソフトウェアとオーディオ機器との間でデジタル/アナログ信号のやり取りを可能にするオーディオインターフェースです。DAW ソフトウェアとの連携機能など、コンピューターでの音楽制作に必要な機能を内蔵しており、音楽制作の作業手順に沿った効率の良い環境を構築できます。

MR816 CSX/MR816 X のマニュアルは、セットアップガイド(本書)とオペレーションマニュアル(PDF マニュアル)の2つに分かれています。セットアップガイドでは、MR816 CSX/MR816 X をお使いいただくために必要なソフトウェアのインストール方法やその動作環境、セットアップ方法、簡単な操作手順などを説明しています。オペレーションマニュアルでは、MR816 CSX/MR816 X の機能の詳細や、具体的な操作手順について説明しています。MR816 CSX/MR816 X の優れた機能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、まずはこのセットアップガイドをご使用前に必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

特長

Cubase(*1) との連携機能

専用ソフトウェアをインストールすれば、MR816 CSX/MR816 X と Cubase をシームレスに連携させることができます。たとえば、MR816 CSX/MR816 X の MIC/LINE 入力からのオーディオ信号を、1 つのボタンを押すだけで、Cubase の任意のオーディオトラックに割り当てることができたり、Cubase 上のミキサーを使って、レイテンシーのないモニターミックスを簡単に作れたりします。特に、Cubase シリーズの中で最上位の Cubase 4.5 以降との組み合わせでは、Cubase 上でのコントロールルーム機能と連携したモニターミックスの作成などの高度な連携操作が可能になります。連携機能については、23 ページをご覧ください。

(*1) 本機との連携機能が使用できる Cubase は Cubase/Cubase AI などのバージョン 4.5 以降になります。連携機能を使用できる Cubase については、22 ページをご覧ください。

高音質

D-Pre (インバーテッドダーリントン回路を採用したディスクリート方式ヘッドアンプ) を 8 基搭載し、歪みやノイズの少ない、音楽的なキャラクターを持ったバランスのよい音質を実現しました。

ミキサー機能を内蔵し快適なモニタリングをサポート

MR816 CSX/MR816 X は、DSP によるミキサー機能を内蔵しています。最大 16 チャンネルの入力信号を、8 つのステレオにミックスして出力でき、その中の任意の 2 つのステレオ出力を、別々にヘッドフォン端子 1、2 から聞くことができます。また入力信号には内蔵のデジタルリバーブ (REV-X) エフェクトをかけることもでき、ハードウェアミックスによるレイテンシーのない快適なモニター環境を実現しています。

プロレベルのスタジオユースに対応する豊富な入出力端子

MIC/LINE INPUT 1 ~ 8 端子には、それぞれ独立してファンタム電源が使用可能な XLR/TRS フォーン共用端子と PAD スイッチが装備されており、コンデンサーマイクからシンセサイザーなどのラインレベル機器まで、幅広い機器に対応します。MIC/LINE INPUT 1 端子は、HI-Z (ハイインピーダンス) 入力にも対応しており、ギター/ベースなど出力インピーダンスの高い楽器をそのまま接続できます。また、外部エフェクターなどを挿入できる INSERT I/O 端子も搭載しています。WCLK 端子やデジタル I/O も装備し、プロフェッショナルなスタジオユースに対応しています。

Sweet Spot Morphing Channel Strip (COMP、EQ) エフェクトを搭載 (MR816 CSX のみ)

MR816 CSX には、Sweet Spot Morphing Technology を採用した、ヤマハの新開発の Sweet Spot Morphing Channel Strip (COMP、EQ) が 8 基搭載されています。プロフェッショナルエンジニアのノウハウが凝縮されたセッティングがあらかじめ用意されており、本体パネルからの簡単な操作でプロ並の効果を得ることができます。コンピューターと接続している場合は、マイクや楽器などの入力信号だけでなく、DAW に録音する信号にもこのエフェクトをかけることができます。また Channel Strip エフェクト専用の設定画面を使用することにより、細かなパラメーター設定も可能です。

デジタルリバーブ (REV-X) を搭載

すべてのインプットチャンネルで共有可能なデジタルリバーブ (REV-X) を内蔵しています。コンピューターに接続している場合は、マイクや楽器だけでなく DAW からの入力信号にもデジタルリバーブをかけることができます。また、REV-X 専用の設定画面を使用している細かいパラメーター設定も可能です。

MR816 CSX/MR816 X 3 台までの同時使用をサポート

MR816 CSX/MR816 X は、最大 3 台まで (サンプリング周波数が 88.2kHz/96kHz の場合は最大 2 台まで) を接続して同時に使用できます。IEEE1394 ケーブルをデジチェーン接続するだけで、簡単に入出力チャンネルを拡張できます。

目次

はじめに.....	6	外部機器との接続.....	20
特長.....	6	録音してみよう.....	22
パッケージの内容.....	7	トラブルシューティング (困ったときは).....	24
付属のディスクについて.....	7	TOOLS for MR のご使用条件.....	25
各部の名称.....	10	Cubase AI 4 のご使用条件.....	26
電源の準備.....	11	資料.....	30
ソフトウェアのインストール.....	12	ユーザーサポートサービス.....	32

パッケージの内容

MR816 CSX/MR816 Xのパッケージには、次のものが同梱されています。箱を開けたらまず同梱品を確認してください。

- ・ MR816 CSX/MR816 X 本体
- ・ 電源アダプター (PA-30 またはヤマハ推奨の同等品)
- ・ MR816 CSX/MR816 X セットアップガイド (本書)
- ・ 保証書
- ・ IEEE1394 ケーブル
- ・ TOOLS for MR CD-ROM
- ・ Cubase AI 4 DVD-ROM
- ・ ゴム脚×4*

* この機器に同梱されているゴム脚はすべり止め用です。すべりやすい場所にこの機器を置く場合に、このゴム脚を本体底面の適切な箇所に貼ってご使用ください。

付属のディスクについて

ディスクの内容

付属ディスク (TOOLS for MR CD-ROM、Cubase AI 4 DVD-ROM) には、以下のソフトウェアが収録されています。

「TOOLS for MR」CD-ROM

- ・ TOOLS for MR インストーラー
このインストーラーにより、Yamaha Steinberg FW Driver、Steinberg MR Editor、Steinberg MR Extension がインストールされます。
- ・ MR816 CSX/MR816 X オペレーションマニュアル (PDF マニュアル)
MR816 CSX/MR816 X の機能の詳細や、具体的な操作手順について説明しています。セットアップガイドを基に設定していただいたあとに、お読みください。

「Cubase AI 4」DVD-ROM

- ・ Cubase AI 4 (Windows/Macintosh)

重要!

各ディスクは、25 ページと 26 ページに記載しているソフトウェアのご使用条件を十分お読みいただき、ご同意のうえで開封してください。開封された場合は、そのソフトウェアのご使用条件に同意していただいたことになります。

NOTE

- ・ PDF マニュアルをご覧になるには、コンピューターに Adobe Reader (無償) がインストールされている必要があります。Adobe Reader をお持ちでない方は、下記 URL から Adobe 社のページを開き、Adobe Reader をダウンロードしてください。
<http://www.adobe.com/jp>

ディスク使用上のご注意

- お客様がこのディスク / ソフトウェアの複製を試みた結果生じた損害については、Steinberg Media Technologies GmbH 社およびヤマハ (株) は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 同梱されているソフトウェアのディスクは、オーディオ / 映像用ではありません。コンピューター以外の機器では絶対に使用しないでください。

- ・ TOOLS for MR CD-ROM に収録されている Yamaha Steinberg FW Driver、Steinberg MR Editor、Steinberg MR Extension の著作権はすべてヤマハ (株) が所有します。
- ・ Cubase AI 4 DVD-ROM の著作権は、Steinberg Media Technologies GmbH 社が所有します。
- ・ ソフトウェアの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ 付属ディスクに収録されているソフトウェアの最新情報は、下記 URL をご参照ください。バージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、Web での対応とさせていただきます。
http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_mr816_j

ソフトウェアの動作環境

付属ディスク (TOOLS for MR、Cubase AI 4) に収録されているソフトウェアをインストールしてお使いいただくためには、以下の動作環境が必要です。

NOTE

- ・ お使いの OS によっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。
- ・ 各社 DAW の動作環境については、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

■ Windows

TOOLS for MR

- OS : Windows XP Professional SP2/XP Home Edition SP2/Vista (32 ビット版)
- コンピューター : Core/Pentium/Celeron ファミリーまたは Athlon ファミリーの CPU を搭載したコンピューター
S400(転送スピード 400Mbps) の IEEE1394 端子または i.LINK 端子を搭載したもの (*1)
- ハードディスク : 160MB 以上の空き容量、高速なハードディスク

Windows XP Professional SP2/XP Home Edition SP2

・推奨動作環境 (*2)

○ 1 台使用時

- CPU : Core 2 Duo 1.66GHz 以上
メモリー : 512MB 以上

○ 3 台使用時

- CPU : Core 2 Duo 1.66GHz 以上
メモリー : 1GB 以上

・最低動作環境 (*2)

- CPU : Pentium 1.4GHz または Celeron 1.7GHz 以上
メモリー : 512MB 以上

Windows Vista (32 ビット版)

・推奨動作環境 (*2)

○ 1 台使用時

- CPU : Core 2 Duo 2.13GHz 以上
メモリー : 1GB 以上

○ 3 台使用時

- CPU : Core 2 Duo 2.13GHz 以上
メモリー : 2GB 以上

・最低動作環境 (*2)

- CPU : Pentium 1.4GHz または Celeron 1.7GHz 以上
メモリー : 512MB 以上

*1 IEEE1394 端子または i.LINK 端子を搭載したコンピューターが必要です。搭載していない場合は、PC または PCI カードなどを別途ご用意ください。詳細な動作環境や推奨の PC、PCI カードについては下記 URL をご覧ください。
http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_mr816_j

*2 前記推奨 / 最低動作環境は、付属の Cubase AI 4 で次のオーディオ / MIDI を再生しながら、同梱のソフトエフェクトなどを使用した場合です。お使いの DAW によって異なる場合があります。

<推奨動作環境 (1 台使用時)>

Fs=44.1kHz / 24bit
 Audio x 16トラック再生
 Audio x 1トラック録音
 MIDI x 2トラック再生
 Send Plug-in Soft Effect 3 系統
 Insert Plug-in Soft Effect 9 系統
 Plug-in Soft Synthesizer 2 系統
 Latency 6msec 程度

<推奨動作環境 (3 台使用時)>

Fs=44.1kHz / 24bit
 Audio x 16トラック再生
 Audio x 2トラック録音
 Latency 6msec 程度

<最低動作環境>

Fs=44.1kHz / 24bit
 Audio x 15トラック再生
 Send Plug-in Soft Effect 3 系統
 Insert Plug-in Soft Effect 9 系統
 Plug-in Soft Synthesizer なし
 Latency 50msec 程度

NOTE

・ ノートPCをご使用の場合、ノートPCの制約により、内蔵IEEE1394が使用できないことがあります。このようなときは、PCカードを別途ご用意ください。

Cubase AI 4.5

OS : Windows XP Professional / XP Home Edition / Vista(32ビット版)
 CPU : Pentium/Athlon 1.4GHz 以上
 メモリー : 512MB 以上
 画像解像度 : 1280 × 800 - フルカラー
 ハードディスク : 1GB 以上

重要!

・ Cubase AI 4のインストールには、DVDドライブが必要になります。
 ・ Cubase AI 4を継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットの接続が必要になります。

■ **Macintosh**

TOOLS for MR

OS : Mac OS X 10.4.x、Mac OS X 10.5.x
 ハードディスク : 100MB 以上の空き容量、高速なハードディスク

・ **推奨動作環境 (*1)**

○ 1 台使用時

CPU : PowerPC G5 2.0GHz Dualまたは Core Solo 1.5GHz 以上
 メモリー : 1GB 以上

○ 3 台使用時

CPU : Core Duo 2.16GHz 以上
 メモリー : 1GB 以上

・ **最低動作環境 (*1)**

CPU : PowerPC G4 1GHz 以上
 メモリー : 512MB 以上

*1 前記推奨/最低動作環境は、付属の Cubase AI 4で次のオーディオ/MIDIを再生しながら、同梱のソフトエフェクトなどを使用した場合です。お使いの DAW によって異なる場合があります。

<推奨動作環境 (1 台使用時)>

Fs=44.1kHz / 24bit
 Audio x 16トラック再生
 Audio x 1トラック録音
 MIDI x 2トラック再生
 Send Plug-in Soft Effect 3 系統
 Insert Plug-in Soft Effect 9 系統
 Plug-in Soft Synthesizer 2 系統
 Latency 5msec 程度

<推奨動作環境 (3 台使用時)>

Fs=44.1kHz / 24bit
 Audio x 16トラック再生
 Audio x 2トラック録音
 Latency 5msec 程度

<最低動作環境>

Fs=44.1kHz / 24bit
 Audio x 15トラック再生
 Send Plug-in Soft Effect 3 系統
 Insert Plug-in Soft Effect 9 系統
 Plug-in Soft Synthesizer なし
 Latency 50msec 程度

Cubase AI 4.5

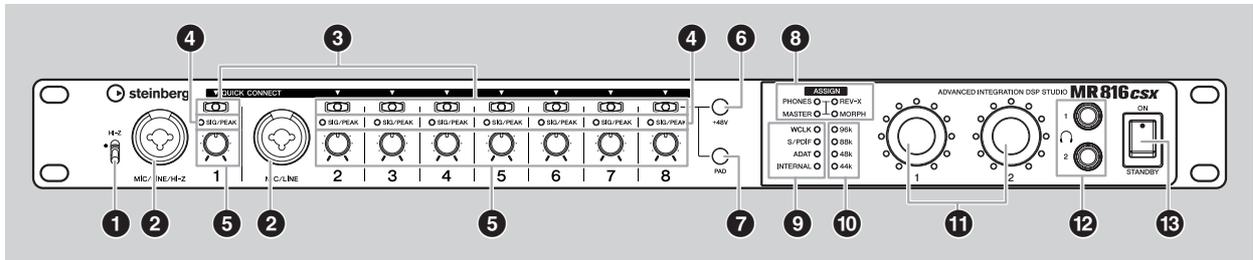
OS : Mac OS X 10.4.x、Mac OS X 10.5.x
 CPU : PowerPC G4 1GHz または Core Solo 1.5GHz 以上
 メモリー : 512MB 以上
 画像解像度 : 1280 × 800 - フルカラー
 ハードディスク : 1GB 以上

重要!

・ Cubase AI 4のインストールには、DVDドライブが必要になります。
 ・ Cubase AI 4を継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットの接続が必要になります。

各部の名称

フロントパネル

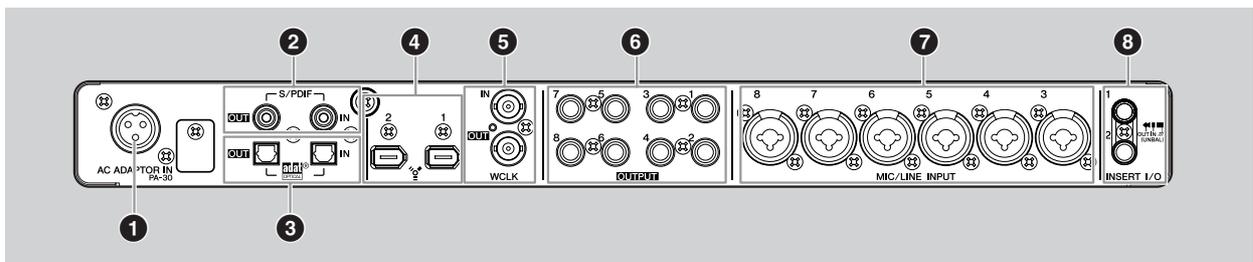


- ① [HI-Z] スイッチ
- ② MIC/LINE/HI-Z 端子 1 (アナログ入力端子 1)
MIC/LINE 端子 2 (アナログ入力端子 2)
- ③ [QUICK CONNECT] ボタン (LED ランプ付き)
- ④ [SIG/PEAK] ランプ
- ⑤ ゲインノブ 1 ~ 8
- ⑥ [+48V] ボタン (LED ランプ付き)
- ⑦ [PAD] ボタン (LED ランプ付き)
- ⑧ [ASSIGN] ランプ
- ⑨ クロックソースランプ
- ⑩ サンプリング周波数ランプ
- ⑪ マルチファンクションエンコーダーノブ 1、2
(LED ランプ付き)
- ⑫ ヘッドフォン 端子 1、2
- ⑬ [STANDBY/ON] スイッチ

NOTE

・ [MORPH] ランプは、MR816 CSX にのみついています。

リアパネル



- ① AC ADAPTOR IN 端子
- ② S/PDIF IN/OUT 端子
- ③ OPTICAL IN/OUT 端子
- ④ IEEE1394 端子 1、2
- ⑤ WCLK IN/OUT (ワードクロックイン/アウト) 端子
- ⑥ OUTPUT 端子 1 ~ 8 (アナログ出力端子 1 ~ 8)
- ⑦ MIC/LINE INPUT 端子 3 ~ 8
(アナログ入力端子 3 ~ 8)
- ⑧ INSERT I/O 端子 1、2

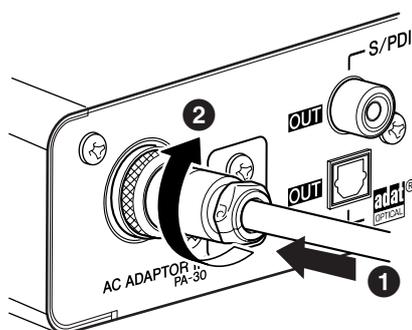
電源の準備

電源の準備

- 1 MR816 CSX/MR816 X の電源が切れている ([STANDBY/ON] スイッチが STANDBY の状態) ことを確認します。

❗ 電源アダプターは、必ず付属の電源アダプター (PA-30) またはヤマハ推奨の同等品をご使用ください。ほかの電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このようなときは、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、十分にご注意ください。

- 2 電源アダプターのプラグを、リアパネルの AC ADAPTOR IN (電源アダプター接続) 端子に差し込んだあと (❶)、固定リングを時計回りにまわして固定します (❷)。



- 3 アダプターの電源プラグを家庭用 (AC100V) コンセントにしっかり差し込みます。

❗ MR816 CSX/MR816 X を使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源アダプターを抜いてください。

❗ 電源アダプターは、MR816 CSX/MR816 X から十分に離してご使用ください。電源アダプターと本体を近づけた状態でご使用になると、ノイズが生じる場合があります。

電源のオン / オフ

- 1 [STANDBY/ON] スイッチの「ON」側を押すと電源が入ります。
- 2 「STANDBY」側を押すと電源が切れます。

❗ 電源スイッチが「STANDBY」の状態でも微電流が流れています。MR816 CSX/MR816 X を長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源アダプターを抜いてください。

NOTE

・スピーカーから大きなノイズが発生しないようにするため、楽器、マイク、CD プレーヤーなどの音源に近い機器から順に電源をオンにします。

例：楽器、マイク、CD プレーヤーなどの周辺機器 → MR816 CSX/MR816 X → パワードスピーカー (パワーアンプ)
電源を切る場合は、上記の逆の順番になります。

❗ 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った状態で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小 (0) にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

ソフトウェアのインストール

MR816 CSX/MR816 Xをコンピューターと接続して使用するためには、ソフトウェアのインストールを行なう必要があります。ここではソフトウェアのインストール手順について説明します。まず同梱されている Cubase AI 4 をインストールし、その後 TOOLS for MR をインストールしてください。

NOTE

- すでに Cubase 4.5 などの MR816 CSX/MR816 X との連携機能に対応した Cubase (22 ページ) をインストールされている場合は、「Cubase AI 4 のインストール」は不要です。「TOOLS for MR のインストール」から作業を行なってください。

Cubase AI 4 のインストール

重要!

Cubase AI 4 DVD-ROM は、26 ページに記載している Steineberg ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約 (EULA) を十分お読みいただき、ご同意のうえで開封してください。開封された場合は、このソフトウェアエンドユーザーライセンス契約に同意していただいたこととなります。

- 1 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
- 2 Cubase AI 4 DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。

- 3 Windows の場合は「Cubase AI4 for Windows」フォルダーを開き、「CubaseAI4.msi」をダブルクリックします。

Mac の場合は「Cubase AI4 for MacOS X」フォルダーを開き、「CubaseAI4.mpkg」をダブルクリックします。

画面の指示に従ってインストールしてください。

NOTE

- Cubase AI 4 を継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットに接続した状態で Cubase を起動したときに行なえます。起動時に表示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後、一定期間のみご使用いただけます。

TOOLS for MR のインストール

- TOOLS for MR をインストール/アンインストールするときに、ノイズが発生することがあります。これらの操作を行なう前に、各機器の出力を下げてください。

TOOLS for MR は、「Yamaha Steinberg FW Driver」、「Steinberg MR Editor」、「Steinberg MR Extension」の3つのソフトウェアで構成されています。

Yamaha Steinberg FW Driver は、MR816 CSX/MR816 X 本体とコンピューターとの間でオーディオ信号を IEEE1394 ケーブルを通じて送受信するためのソフトウェアです。Steinberg MR Editor は、基本機能からシステムの設定まで、MR816 CSX/MR816 X のすべての設定を行なえるソフトウェアです。MR 本体をコンピューターからリモートコントロールしたり、パラメーター設定をコンピューターに保存したりできます。Steinberg MR Extension は、MR816 CSX/MR816 X を Cubase 4.5/Cubase AI 4.5 などの連携機能に対応した Cubase (22 ページ) と組み合わせて使うためのソフトウェアです。

TOOLS for MR インストーラーにより、これら3つのソフトウェアがインストールされます。

重要!

「Steinberg MR Extension」をインストールする前に、Cubase 4.5/Cubase AI 4.5 などの連携機能に対応した Cubase (22 ページ) のインストールを必ず行なってください。Cubase のインストール先に、MR816 CSX/MR816 X 用のプロジェクトテンプレートがインストールされます。

Windows をお使いで、Yamaha n Driver、Yamaha AI Driver または mLAN Driver/mLAN Tools がコンピューターにインストールされている場合

- MR816 CSX/MR816 X をコンピューターに接続して電源をオンにする前に、これらのドライバーを無効 (オフ) にしておいてください。有効 (オン) のままにしておくと、これらのドライバーが IEEE1394 インターフェースを使用するため、コンピューターが MR816 CSX/MR816 X を認識しません。コンピューターに複数の IEEE1394 インターフェースを装着して、これらのドライバーが使用する IEEE1394 インターフェースと異なるインターフェースに MR816 CSX/MR816 X を接続する場合は、無効 (オフ) にする必要はありません。
- これらのソフトウェアの V1.6.0 ~ 1.6.2 をお使いの場合は、あらかじめ、V1.6.3 以降にアップデートしておいてください。Yamaha Steinberg FW Driver は、これらのソフトウェアの V1.6.0 ~ 1.6.2 と互換性がないため、動作しません。

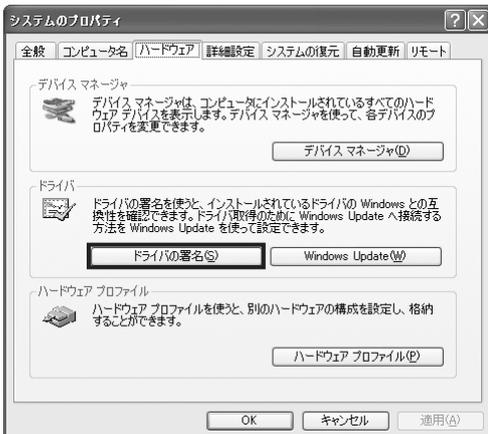
■ Windows XP の場合

インストール前の準備

- 1 MR816 CSX/MR816 X の電源が切れていることを確認します。
- 2 MR816 CSX/MR816 X をコンピューターの IEEE 1394 端子にハブを使わず直接つなぎ、MR816 CSX/MR816 X 以外の IEEE1394 機器は、コンピューターから外します。
- 3 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
- 4 [スタート] → (設定) → [コントロールパネル] をクリックします。コントロールパネルが次のような表示のときは、画面左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。
すべてのコントロールパネルとアイコンが表示されず。



- 5 [システム] → [ハードウェア] → [ドライバの署名] → [ドライバ署名オプション] で「無視—ソフトウェアをインストールし、確認を求めない」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK] をクリックします。



NOTE

- ・ インストールが終了したら、ここでの設定を元に戻してください。

- 6 ([システム] → [ハードウェア] → [デバイスマネージャ] の「1394 バスホストコントローラ」に「!」や「×」マークがついていないことを確認します。「!」や「×」マークがついている場合は、IEEE1394/i.LINK が使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご参照ください。
- 7 [OK] ボタンや画面右上の [x] ボタンをクリックして、デバイスマネージャ画面、システムのプロパティ画面とコントロールパネル画面を閉じます。
- 8 アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
- 9 TOOLS for MR CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

ソフトウェアのインストール

インストーラーを起動し、以下の 3 つのソフトウェアをインストールします。

- ・ Yamaha Steinberg FW Driver
- ・ Steinberg MR Editor
- ・ Steinberg MR Extension

NOTE

- ・ インストールの中止には、必ずキャンセルボタンやクローズボタンを使用してください。[Ctrl]+[Alt]+[Delete] を使用して中止したり、インストールの途中で電源をオフにしたりすると、アンインストールが正常にできなくなる原因となります。

- 10 CD-ROM を開き、「setup.exe」をダブルクリックします。

「TOOLS for MR セットアップへようこそ」という画面が表示されます。



- 11 [次へ] をクリックします。

12 Yamaha Steinberg FW Driver, Steinberg MR Editor, Steinberg MR Extension の順にセットアップ画面が表示されるので、画面の指示に従って各ソフトウェアをインストールします。

NOTE

- ・ インストールされる各ソフトウェアと同じバージョンまたは新しいバージョンのソフトウェアが、すでにお使いのコンピュータにインストールされている場合は、該当するソフトウェアのインストールに関する画面は表示されません。
- ・ インストール中、「ロゴテストに合格していません」というメッセージが表示された場合は、「続行」をクリックします。インストールを中止する必要はありません。メッセージが表示されない場合はそのまま次の手順に進みます。

13 TOOLS for MR のインストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。インストールされたソフトウェアを使用するのにコンピュータの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージも表示されます。その場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」の左側のラジオボタンにチェックが入っていることを確認し、「完了」をクリックしてコンピュータを再起動します。再起動を促すメッセージが表示されていない場合は、「完了」をクリックすると、インストールが終了します。

インストールを途中で終了した場合について
インストールを途中で終了した場合、ソフトウェアが不完全な状態で、インストールされている可能性があります。正しくソフトウェアをインストールするには、もう一度手順 10 からやり直して、インストールを行なってください。

ドライバーの初期設定

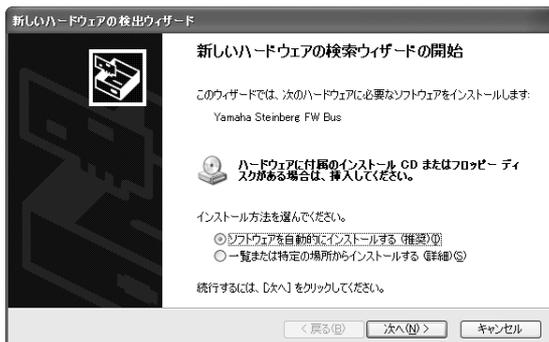
TOOLS for MR のインストールが完了したら、ドライバーの初期設定を行ないます。

NOTE

- ・ Windows Update に接続するかどうかを選択する画面が表示されることがあります。この場合は「いいえ、今回は接続しません」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、「次へ」をクリックします。

Bus ドライバーの初期設定

14 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、「次へ」をクリックします。



15 インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。 [完了] をクリックします。

NOTE

- ・ コンピューターに複数の IEEE1394 インターフェースを装着している場合、ウィザードが複数回表示されます。各ウィザードを完了させてください。

MR816 Series ドライバーの初期設定

16 MR816 CSX/MR816 X をコンピュータに接続して電源を入れます。 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

17 「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、「次へ」をクリックします。

18 インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。 [完了] をクリックします。

WDM Audio ドライバーの初期設定

19 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、「次へ」をクリックします。

20 インストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。 [完了] をクリックします。 MR816 CSX/MR816 X のクロックソースランプとサンプリング周波数ランプが順に点滅し、その後、点滅が停止したら、初期設定が完了しています。

NOTE

- ・ コンピューターに新しい IEEE1394 インターフェースを装着したときや、2 台目以降の MR816 CSX/MR816 X を接続したときも、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。ここでの説明と同じ手順でウィザードを完了させてください。

インストール後の確認

- 1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択します。
- 2 [システム] アイコンをダブルクリックして、「システムのプロパティ」を表示させます。
- 3 [ハードウェア] のタブを選び [デバイスマネージャ] をクリックします。
- 4 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の左側の [+] マークをクリックし、「Steinberg MR816 Series」、「Yamaha Steinberg FW Bus」、「Yamaha Steinberg FW WDM Audio」が表示されていることを確認します。



アンインストール

TOOLS for MR をアンインストールするには、以下の 3 つのソフトウェアを個別に削除する必要があります。

- ・ Yamaha Steinberg FW Driver
- ・ Steinberg MR Editor
- ・ Steinberg MR Extension

- 1 MR816 CSX/MR816 Xの電源が切れていることを確認します。また、コンピューター上のアプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
- 2 [スタート] → ([設定] →) [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] を選択し、「プログラムの追加と削除」を表示します。
- 3 左上の「プログラムの変更と削除」をクリックして選び、右側のリストの中から「Yamaha Steinberg FW Driver」/「Steinberg MR Editor」/「Steinberg MR Extension」を選択します。
- 4 アンインストールを実行するには [変更と削除] / [削除] をクリックします。
ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

■ Windows Vista の場合

インストール前の準備

- 1 MR816 CSX/MR816 Xの電源が切れていることを確認します。
- 2 MR816 CSX/MR816 X をコンピューターの IEEE 1394 端子にハブを使わず直接つなぎ、MR816 CSX/MR816 X 以外の IEEE1394 機器は、コンピューターから外します。
- 3 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログオンします。
- 4 [スタート] → [コントロールパネル] をクリックします。コントロールパネルが次のような表示のときは、画面左上の「クラシック表示」をクリックします。すべてのコントロールパネルとアイコンが表示されます。



- 5 「デバイスマネージャ」アイコンをダブルクリックします。

NOTE

- ・「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行] をクリックします。

- 6 「1394 バスホストコントローラ」に「!」や「×」マークがついていないことを確認します。「!」や「×」マークがついている場合は、IEEE1394/i.LINK が使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご参照ください。
- 7 デバイスマネージャ画面右上の「×」をクリックし、さらにコントロールパネル画面右上の「×」をクリックして、各画面を閉じます。
- 8 アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
- 9 TOOLS for MR CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

ソフトウェアのインストール

インストーラーを起動し、以下の 3 つのソフトウェアをインストールします。

- ・ Yamaha Steinberg FW Driver
- ・ Steinberg MR Editor
- ・ Steinberg MR Extension

NOTE

- ・ インストールの中止には、必ずキャンセルボタンやクローズボタンを使用してください。[Ctrl]+[Alt]+[Delete] を使用して中止したり、インストールの途中で電源をオフにしたりすると、アンインストールが正常にできなくなる原因となります。

- 10 CD-ROM を開き、「setup.exe」をダブルクリックします。「TOOLS for MR セットアップへようこそ」という画面が表示されます。



NOTE

- ・ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行] をクリックします。

- 11 [次へ] をクリックします。

- 12 Yamaha Steinberg FW Driver、Steinberg MR Editor、Steinberg MR Extension の順にセットアップ画面が表示されるので、画面の指示に従って各ソフトウェアをインストールします。

NOTE

- ・ インストールされる各ソフトウェアと同じバージョンまたは新しいバージョンのソフトウェアが、すでにお使いのコンピューターにインストールされている場合は、該当するソフトウェアのインストールに関する画面は表示されません。
- ・ インストール中に「Windows セキュリティ」画面が表示された場合は、発行元が「YAMAHA CORPORATION」であることを確認して、[インストール] をクリックします。



- 13** TOOLS for MR のインストールが完了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。インストールされたソフトウェアを使用するのにコンピューターの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージも表示されます。その場合は、「はい、今すぐコンピューターを再起動します。」の左側のラジオボタンにチェックが入っていることを確認し、「完了」をクリックしてコンピューターを再起動します。再起動を促すメッセージが表示されていない場合は、「完了」をクリックすると、インストールが終了します。

インストールを途中で終了した場合について
インストールを途中で終了した場合、ソフトウェアが不完全な状態で、インストールされている可能性があります。正しくソフトウェアをインストールするには、もう一度手順 10 からやりなおして、インストールを行なってください。

ドライバーの初期設定

TOOLS for MR のインストールが完了したら、ドライバーの初期設定が自動的に行なわれます。

NOTE

- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。

- 14** MR816 CSX/MR816 X をコンピューターに接続して、機器の電源を入れます。MR816 CSX/MR816 X のクロックソースランプとサンプリング周波数ランプが順に点滅し、その後、点滅が停止したら、初期設定が完了しています。

NOTE

- しばらく待ってもMR816 CSX/MR816 X のクロックソースランプとサンプリング周波数ランプが順に点滅しない場合は、コンピューターを再起動してみてください。
- コンピューターに新しい IEEE1394 インターフェースを装着すると、「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合があります。その場合は、「続行」をクリックしてください。

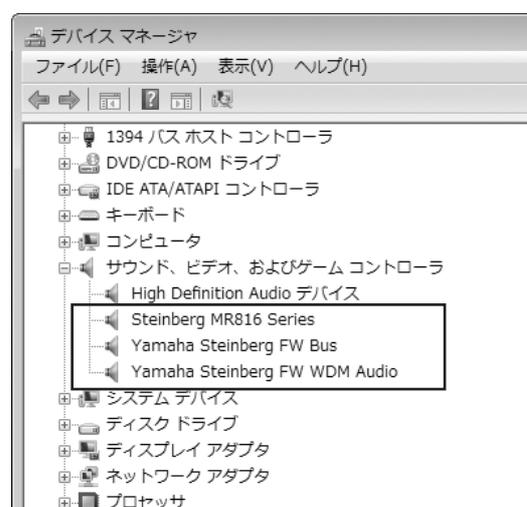
インストール後の確認

- 1 「スタート」メニューから【コントロールパネル】を選択します。
- 2 「デバイスマネージャ」アイコンをダブルクリックします。

NOTE

- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。

- 3 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の左側の【+】マークをクリックし、「Steinberg MR816 Series」、「Yamaha Steinberg FW Bus」、「Yamaha Steinberg FW WDM Audio」が表示されていることを確認します。



ソフトウェアのアンインストール

TOOLS for MR をアンインストールするには、以下の 3 つのソフトウェアを個別に削除する必要があります。

- ・ Yamaha Steinberg FW Driver
- ・ Steinberg MR Editor
- ・ Steinberg MR Extension

以下の手順に従って、各ソフトウェアを削除してください。

- 1 MR816 CSX/MR816 X の電源が切れていることを確認します。また、コンピューター上のアプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
- 2 「スタート」 → 「コントロールパネル」 → 「プログラムと機能」を選択し、「プログラムのアンインストールまたは変更」を表示します。
- 3 リストの中から「Yamaha Steinberg FW Driver」 / 「Steinberg MR Editor」 / 「Steinberg MR Extension」を選択します。
- 4 「アンインストール」 / 「アンインストールと変更」をクリックします。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

■ Macintosh の場合

インストール前の準備

- 1 MR816 CSX/MR816 Xの電源が切れていることを確認します。
- 2 MR816 CSX/MR816 XをコンピューターのIEEE1394(FireWire) 端子にハブを使わず直接つなぎ、MR816 CSX/MR816 X 以外の IEEE1394 機器は、コンピューターから外します。
- 3 コンピューターを起動して、管理者権限のあるアカウントでログインします。
- 4 アプリケーションを終了し、使っていないウィンドウをすべて閉じます。
- 5 TOOLS for MR CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

ソフトウェアのインストール

- 6 CD-ROM を開き、「TOOLS for MR.mpkg」をダブルクリックします。
- 7 「このパッケージには、ソフトウェアをインストールできるかどうかを判断するプログラムが含まれています。続けてもよろしいですか?」というダイアログが表示されたら、「続ける」をクリックします。「ようこそ TOOLS for MR インストーラへ」画面が表示されます。



- 8 「続ける」をクリックします。「インストール先の選択」画面が表示されます。

NOTE

- ・ このインストーラーで選択できるのは起動ディスクのみです。
- ・ Mac OS X 10.5 (Leopard) をお使いの場合は、「続ける」をクリックすると、「インストールの種類」画面が表示されます。

- 9 「続ける」をクリックします。「インストールの種類」画面が表示されます。

- 10 「インストール」をクリックします。「認証」画面が表示されます。

NOTE

- ・ インストールされる各ソフトウェアの古いバージョンが、すでにお使いのコンピューターにインストールされている場合は、「アップデート」をクリックします。

- 11 管理者権限のある名前とパスワードを入力して、「OK」をクリックします。インストール後に再起動することを確認する画面が表示されます。

- 12 「インストールを続ける」をクリックします。「インストール」画面が表示され、インストールの進行状況が確認できます。インストールが終了すると「仕上げ」画面が表示されます。

NOTE

- ・ 「インストールを続ける」をクリックしたあとは、インストールのキャンセルはできません。

- 13 「再起動」をクリックしてコンピューターを再起動します。

- 14 MR816 CSX/MR816 X をコンピューターに接続して、機器の電源を入れます。MR816 CSX/MR816 X のクロックソースランプとサンプリング周波数ランプが順に点滅し、その後、点滅が停止したら、初期設定が完了しています。

NOTE

- ・ しばらく待っても MR816 CSX/MR816 X のクロックソースランプとサンプリング周波数ランプが順に点滅しない場合は、コンピューターを再起動してみてください。

インストールを途中で終了した場合について

インストールを途中で終了した場合、ソフトウェアが不完全な状態で、インストールされている可能性があります。正しくソフトウェアをインストールするには、もう一度手順6からやりなおして、インストールを行なってください。

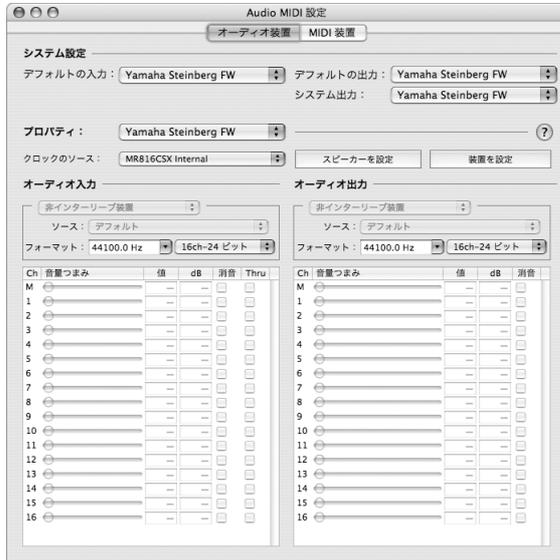
インストール後の確認

Audio MIDI 設定 (オーディオ装置)

- 1 OS がインストールされているハードディスク (通常 Macintosh HD) から [アプリケーション] → [ユーティリティ] を開き、[Audio MIDI 設定] をダブルクリックします。「Audio MIDI 設定」画面が表示されます。
- 2 [オーディオ装置] をクリックし、[プロパティ:] 欄の矢印をクリックして「Yamaha Steinberg FW」を選びます。[オーディオ入力] と [オーディオ出力] 欄に現在のオーディオの設定が表示されます。

NOTE

- ・ [システム設定] 欄の [デフォルトの出力] で「Yamaha Steinberg FW」を選択すると、システムサウンドや各種オーディオプレーヤーソフトウェア (iTunes など) のオーディオを、お使いの MR816 CSX/MR816 X から出力できます。

**ソフトウェアのアンインストール**

TOOLS for MR をアンインストールするには、以下の 3 つのソフトウェアを削除してください。

- ・ Yamaha Steinberg FW Driver
- ・ Steinberg MR Editor
- ・ Steinberg MR Extension

Yamaha Steinberg FW Driver の削除

以下のフォルダーおよびファイルを起動ディスク (通常は Macintosh HD) から削除してください。

- / アプリケーション / Yamaha / FWDriver /
Yamaha Steinberg FW Control Panel.app
YamahaFWCM.app
- / システム / ライブラリ / Extensions /
YamahaFWAudioDriver.kext
- / システム / ライブラリ / Frameworks /
YamahaFWEnabler.framework
- / ユーザ / {user 名} / ライブラリ / Preference /
com.yamaha.YamahaFWCM.plist
- / ライブラリ / Application Support / Yamaha / FWDriver / HAL /
YamahaFWHAL.bundle
- / ライブラリ / Audio / MIDI Devices / Yamaha / Images /
FW_110006.tiff
FW_110007.tiff
FW_110008.tiff
FW_110009.tiff
- / ライブラリ / Audio / MIDI Drivers /
YamahaFWMIDI.plugin
- / ライブラリ / LaunchAgents /
com.yamaha.YamahaFWCM.plist
- / ライブラリ / PreferencePanes /
Yamaha Steinberg FW.prefPane

- / ライブラリ / Preferences /
com.yamaha.FWDriver.plist
- / ライブラリ / Receipts /
YamahaFWAudioDriver.pkg
YamahaFWCM.pkg
YamahaFWCP.pkg
YamahaFWDriverplist.pkg
YamahaFWEnabler.pkg
YamahaFWHAL.pkg
YamahaFWMIDIIcon.pkg
YamahaFWMIDIPlugin.pkg

* 「[user 名]」はインストールしたときのアカウント名です。

Steinberg MR Editor の削除

以下のフォルダーおよびファイルを起動ディスク (通常は Macintosh HD) から削除してください。

NOTE

- ・ 下記のうち拡張子が「.ttf」のファイルは、他のヤマハ製アプリケーションソフトウェアでも使用されている場合があります。その可能性がある場合は、削除しないことをお勧めします。

- / アプリケーション /
MREditor.app
- / ライブラリ / Fonts /
Yamaha EBM10 Bold.ttf
Yamaha EBM15 Condensed.ttf
Yamaha EBM7 Bold.ttf
Yamaha EBM7 Regular.ttf
Yamaha EBM8 Expanded.ttf
Yamaha EBM8 Regular.ttf
- / ライブラリ / Receipts /
Steinberg MR Editor.pkg

Steinberg MR Extension の削除

- 1 [ライブラリ] → [Application Support] → [Steinberg] → [components] から「mr_extension.bundle」ファイルを削除します。
 - 2 [アプリケーション]を開き、[control]キーを押しながら「Cubase AI 4」アイコンをクリックします。
 - 3 コンテキストメニューから「パッケージの内容を表示」を選択します。
- NOTE**
- ・ Cubase 4.5 などをお使いの場合は、そのアイコンからコンテキストメニューを開いてください。
- 4 [Contents] → [templates] から「Steinberg XXX.cpr」ファイルを削除します (xxx は製品名などです)。

以上で TOOLS for MR のアンインストールは完了です。

外部機器との接続

外部機器との接続にあたって

MR816 CSX/MR816 Xを使用する際には、次の手順で機器の接続や電源のオン/オフを行なってください。

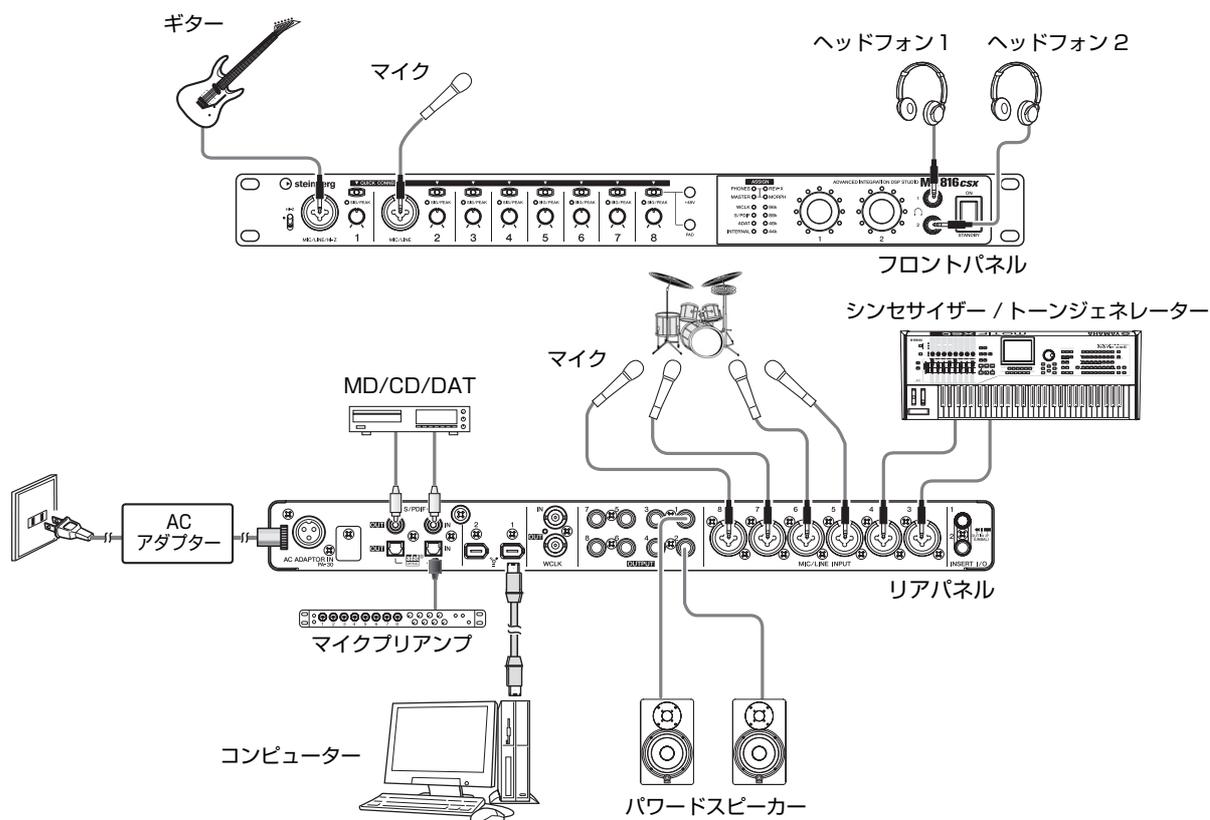
❗ 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った状態で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

- 1 本体に楽器やマイクなどを接続し、IEEE1394 ケーブルを使ってコンピューターと接続します。
- 2 コンピューターを起動します。
- 3 接続した楽器/マイク→MR816 CSX/MR816 X→モニタースピーカーの順に電源を入れます。
電源を切るときは、本体および外部機器の音量を 0 にしたあとに、逆の順番（モニタースピーカー→MR816 CSX/MR816 X→楽器/マイク）で電源を切ります。

PC (DAW) と本機 1 台を接続する場合

MR816 CSX/MR816 Xには、マイク、ギター/ベースなどのアナログ入出力を行なう機器や、マスターレコーダーやデジタル入出力を持つマイクプリアンプなどを接続できます。

❗ セットアップ後に外部機器との接続ケーブルを抜き差しする場合は、必ず本体および該当機器のボリュームを最小(0)にしてから行なってください。



NOTE

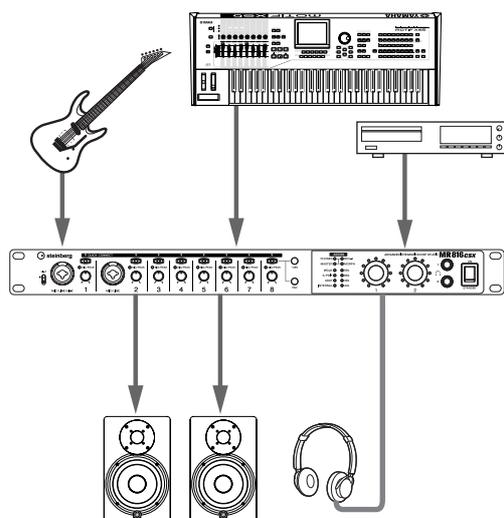
・ MR816 CSX/MR816 Xは、最大 16 チャンネル（アナログ 8 チャンネル、デジタル 8 チャンネル）のオーディオ信号を扱うことが可能です。デジタルオーディオの入出力チャンネルでは、さらに接続する機器に合わせて S/PDIF（コアキシャル / オプティカル）、ADAT などのデジタルオーディオのフォーマットを切り替えて使用できます。設定は、Cubase または Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルや MR Editor のセットアップ画面上で行ないます。詳しくは、オペレーションマニュアルをご参照ください。

コンピューターなしで使用する場合

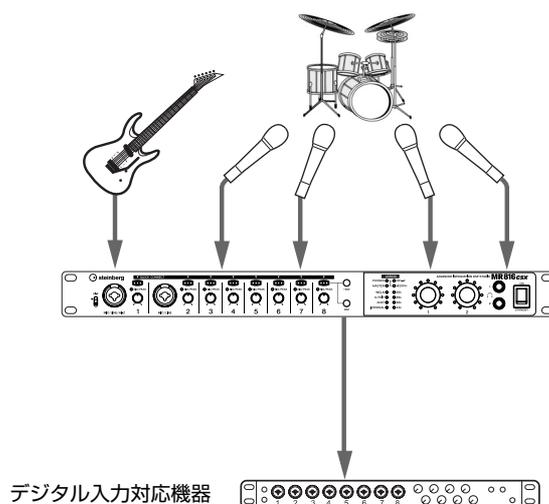
MR816 CSX/MR816 X と通信している MR Editor 上で、設定 (シーン) のストアおよびシーンの呼び出しを使用すると、MR Editor 上で変更した内蔵ミキサーやシステムの設定を本体の内部メモリに保存できます。そのため、本体をコンピューターから外しても、MR Editor から最後にストアまたは呼び出しをした設定を引き続き利用できます。コンピューターと接続しなくても、ミキサーとして、またはマルチチャンネル対応のプリアンプ (A/D コンバーター) として本体を使用できます。

❗ セットアップ後に外部機器との接続ケーブルを抜き差しする場合は、必ず本体および該当機器のボリュームを最小 (0) にしてから行ってください。

■ ミキサーとして使用する場合



■ A/D コンバーターとして使用する場合



NOTE

- MR816 CSX/MR816 X は、コンピューターに最大 3 台まで (サンプリング周波数が 88.2kHz/96kHz の場合は 2 台まで) を接続して同時に使用できます。複数の MR816 CSX/MR816 X を接続する場合の使用方法については、オペレーションマニュアルをご参照ください。

録音してみよう

12 ページの説明に従って TOOLS for MR をインストールすれば、簡単な設定を行なうだけで録音が可能になります。ここでは実際に MIC/LINE/HI-Z 端子 1 にマイクを接続して、Cubase のモノラルオーディオトラックにボーカルを録音してみましょう。

重要!

Cubase との連携機能を使用するには、Cubase、Cubase AI などのバージョン 4.5 以降が必要です。連携機能に対応している Cubase (以降 Cubase) については、下記 URL をご参照ください。

http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_mr816_j

NOTE

- ・ MR816 CSX/MR816 X と Cubase を使った録音については、オペレーションマニュアルで詳しく解説しています。併せてご参照ください。MR816 CSX/MR816 X のボタンやノブの詳しい機能についても、オペレーションマニュアルをご参照ください。
- ・ Cubase の詳しい操作は、Cubase のオペレーションマニュアルの対応する項目をご参照ください。

- 1 コンピューターと MR816 CSX/MR816 X を IEEE 1394 ケーブルで接続し、コンピューターを起動します。
- 2 MR816 CSX/MR816 X の電源を入れます。MR816 CSX/MR816 X 本体のクロックソースランプとサンプリング周波数ランプが順に点滅します。
- 3 MR816 CSX/MR816 X のランプの点滅が止まったあと、Cubase を起動します。Cubase の起動中に Steinberg MR Extension ダイアログが表示された場合は、[OK] をクリックします。



- 4 [デバイス] → [デバイスの設定] を選択して、デバイス設定画面を表示します。デバイス欄の「VST オーディオシステム」を選択して、「ASIO ドライバ」欄に「Yamaha Steinberg FW ASIO」 / 「Yamaha Steinberg FW」が選択されていることを確認します。確認が終わったら、[OK] をクリックしてダイアログを閉じます。これで MR816 CSX/MR816 X が Cubase 上で使用可能になります。

「Yamaha Steinberg FW ASIO」 / 「Yamaha Steinberg FW」が選択されていることを確認



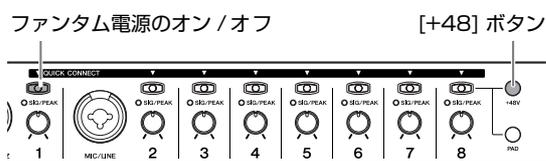
- 5 [ファイル]メニュー → [新規プロジェクト] を選択します。新規プロジェクトダイアログが表示されます。TOOLS for MR をインストールすると、MR816 CSX/MR816 X 用のプロジェクトテンプレートが表示されます。これらのテンプレートを選択すると、オーディオトラックの入出力のルーティングがあらかじめ設定されたプロジェクトを作成できます。ここでは「Steinberg MR816CSX multi channel recording」 / 「Steinberg MR816X multi channel recording」を選択してみましょう。



MR816 CSX/MR816 X のプロジェクトテンプレート

- 6 テンプレートを選択し、[OK] をクリックします。
- 7 ディレクトリの選択ダイアログが表示されたら、新規プロジェクトの保存先を選択して、[OK] をクリックします。テンプレートの「Steinberg MR816CSX multi channel recording」 / 「Steinberg MR816X multi channel recording」を選択した場合、Cubase にオーディオトラック 1 ~ 8 が作成されます。各トラックの入出力のルーティングは、MR816 CSX/MR816 X の各ポートが割り当てられ、本体の該当する [QUICK CONNECT] ボタンのランプが点灯します。

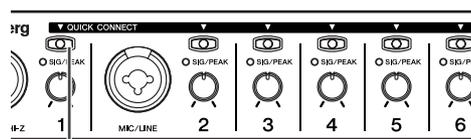
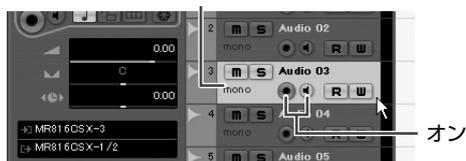
- 8 MIC/LINE/HI-Z 端子 1 にマイクを接続します。**
ファンタム電源が必要なコンデンサーマイクを接続した場合は、次の操作で MIC/LINE/HI-Z 端子 1 のファンタム電源をオンにします。



[+48V] ボタンを押しながら、[QUICK CONNECT] ボタン 1 を押します。[+48V] ボタンと [QUICK CONNECT] ボタン 1 が点灯し、MIC/LINE/HI-Z 端子 1 のファンタム電源がオンになります。

- 9** すでに設定されている MIC/LINE/HI-Z 端子 1 の録音先のトラックを変更したい場合は、Cubase のプロジェクトウィンドウで録音先にしたいモノラルオーディオトラックを選択し、MR816 CSX/MR816 X の [QUICK CONNECT] ボタン 1 を押します。本体の [QUICK CONNECT] ボタン 1 のランプがしばらく点滅し、選択したオーディオトラックに、MIC/LINE/HI-Z 端子 1 からの入力信号が割り当てられます。入力信号がモニターできるように、録音可能ボタンとモニタリングボタンをオンにします。

モノラルオーディオトラックを選択



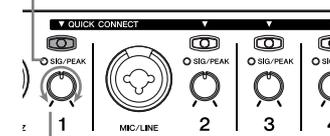
[QUICK CONNECT] ボタンを押す

- 10 ゲインノブ 1 を回して、MIC/LINE/HI-Z 1 端子の入力感度を調節します。**

入力信号のレベルは、[SIG/PEAK] ランプで確認できます。ランプがかすかに赤く点滅する程度を目安に入力信号レベルを調節します。ランプの消灯 / 点灯に対応する入力信号レベルは次のとおりです。ただし、下記の数値はクリッピングポイントを 0dB としたときの値です。

- ランプ消灯 → 入力信号レベル -40dB 未満
- ランプ緑点灯 → 入力信号レベル -40dB ~ -3dB
- ランプ赤点灯 → 入力信号レベル -3dB 以上

かすかに赤く点滅



ノブを回す

- 11 楽器 / マイクの音を出しながら、本体のマスター出力レベルとヘッドフォンの出力レベルを調節します。**

- 12 録音を行なうには、Cubase のトランスポートパネルにある録音ボタンをクリックします。**



演奏が終わったら、停止ボタンをクリックして停止させます。必要に応じてプロジェクトの開始位置まで巻き戻し、再生ボタンをクリックして録音結果を確認します。

同じ要領で他のオーディオトラックにも録音してみましょう。

Cubase との連携機能

MR816 CSX/MR816 X と Cubase 4.5 や Cubase AI 4.5 などを組み合わせることで、いくつかの便利な連携機能を利用できます。連携機能について詳しくは、MR816 CSX/MR816 X オペレーションマニュアルおよび下記 URL をご参照ください。

http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_mr816_j

MR816 CSX/MR816 X の設定を工場出荷時の状態に戻す (ファクトリーリセット)

本体のマルチファンクションエンコーダーノブ 1 と [PAD] ボタンを押しながら、[STANDBY/ON] スイッチを [ON] 側に押し込んで電源を入れたら、MR816 CSX/MR816 X の内蔵メモリーに記憶されているすべての設定が工場出荷時の設定に書きかわります。設定の書き込み中は、本体のすべての LED が点滅します。点滅が止まると書き込みが完了し、通常モードで起動します。



工場出荷時の設定を本体に書き込んでいる間 (本体のすべての LED が点滅している間) は、電源を切らないでください。本体のメモリー上のデータが失われたりシステムデータが壊れたりして、次に電源を入れたときに正常に動作しなくなるおそれがあります。

トラブルシューティング (困ったときは)

■ 音が出ない / 音が小さい

本体の設定、外部機器との接続

- ・ 外部機器との接続ケーブルは断線していませんか？
- ・ 外部機器からの信号は入力されていますか？
- ・ 音源や再生機器の音量設定は上がっていますか？
- ・ ゲインは適切なレベルに設定されていますか？
- ・ コンデンサーマイクを接続するとき、[+48V] ボタンがオンになっていますか？
- ・ エレクトリックギターなどを直接接続する場合、HI-Z 対応の入力端子に接続し、HI-Z のスイッチが ON になっていますか？
- ・ INSERT I/O 端子の入出力は正しく接続されていますか？
- ・ 各チャンネルのミュートはオフになっていますか？
- ・ 各チャンネルのフェーダー / レベルは上がっていますか？
- ・ ヘッドフォン端子の出力レベルや出力信号の設定、またはマスターボリュームレベルの設定は適切ですか？
- ・ スピーカーやヘッドフォンなどは正しく接続されていますか？
- ・ アンプなどの外部機器の電源が入っていますか？
- ・ モニタースピーカーなどの音量バランスは適切ですか？
- ・ ワードクロックの設定は本体と外部機器の双方で正しいですか？

コンピューターとの接続

- ・ 本体のクロックソースランプとサンプリング周波数ランプが順に点滅を続けていませんか？

【本体のクロックソースランプとサンプリング周波数ランプが順に点滅を続ける】の項目参照

コンピューターの設定

- ・ アプリケーションの音量設定は上がっていますか？
- ・ Yamaha Steinberg FW Driver の設定は適切ですか？
【オーディオ / MIDI データが送受信されない】の項目参照
- ・ (Windows Vista) サンプリング周波数を変更したあと、WDM Audio ドライバーからの音が出ない場合、以下の操作を行ってください。
[スタート] → [コントロールパネル] → [サウンド] → [再生] → 「ライン出力 Yamaha Steinberg FW WDM Audio」を選択 → [プロパティ] → ライン出力のプロパティ画面の [詳細] → [既定値に戻す]

■ 本体のクロックソースランプとサンプリング周波数ランプが順に点滅を続ける

コンピューターとの接続

- ・ ランプが点滅している機器は、コンピューターに認識されていないことを示しています。
該当する機器の電源を入れなおすか、コンピューターとその機器を接続している IEEE1394 ケーブルを抜いて、再度挿入してみてください。
- ・ 複数の Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器を接続していませんか？
同時使用の上限は、サンプリング周波数が 44.1kHz/48kHz のときは 3 台まで、88.2kHz/96kHz のときは 2 台までです。
使用していない機器の電源をオフにするか、コンピューターとその機器を接続している IEEE1394 ケーブルを抜いてください。
- ・ 他の IEEE1394 機器が接続されていませんか？
帯域をオーバーしている可能性があります。
使用していない IEEE1394 機器の電源をオフにするか、コンピューターとその機器を接続している IEEE1394 ケーブルを抜いてください。
- ・ (Windows) Yamaha n Driver、Yamaha AI Driver または mLAN Driver/mLAN Tools がコンピューターにインストールされていませんか？これらのドライバーを無効 (オフ) にして、該当する機器の電源を入れなおすか、コンピューターとその機器を接続している IEEE1394 ケーブルを抜いて、再度挿入してください。

■ DAW ソフトウェアなどからコンピューターに接続した機器が見えない

■ オーディオ / MIDI データが送受信されない

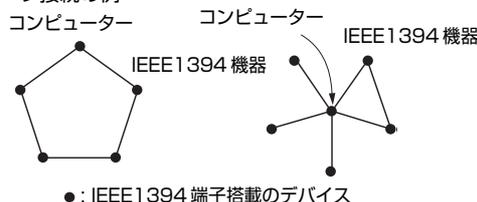
コンピューターとの接続

- ・ 本体のクロックソースランプとサンプリング周波数ランプが順に点滅を続けていませんか？

【本体のクロックソースランプとサンプリング周波数ランプが順に点滅を続ける】の項目参照

- ・ IEEE1394 ケーブルが正しく接続され、本体の電源が入っていますか？
IEEE1394 ケーブルの接続 / 電源を確認してください。一度 IEEE1394 ケーブルを抜いて、再度挿入してみてください。
- ・ ループ接続になっていませんか？ IEEE1394 ケーブルの配線をご確認ください。

ループ接続の例



- ・ コンピューターに複数の IEEE1394 機器を接続している場合は、1 台の Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器のみをコンピューターに接続してみてください。
- ・ コンピューターに複数の IEEE1394 インターフェースを装着していませんか？複数の Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器を使用する場合は、1 つのインターフェースに、すべての対応機器を接続してください。いずれか 1 つのインターフェースに接続した機器しか使用できません。

コンピューターの設定

- ・ TOOLS for MR をインストールしましたか？
- ・ (Windows XP) 新しいハードウェアの検出ウィザードを完了させましたか？
キャンセルしたときは、コンピューターを再起動してください。再度、ウィザードが表示されます。
- ・ コンピューターを再起動してみてください。
- ・ コンピューターの電源がオンの状態で PC カードなどの IEEE1394 インターフェースを装着したときは、コンピューターを再起動してください。Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器は、再起動後に、コンピューターに認識されます。

■ 他の IEEE1394 機器を正常に使用できない

- ・ コンピューターから Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器を取り外してみてください。

■ MR816 CSX/MR816 X 用のプロジェクトテンプレートがない

コンピューターの設定

- ・ TOOLS for MR をインストールしましたか？
- ・ TOOLS for MR のインストール後に Cubase をインストールした場合、プロジェクトテンプレートファイルは以下の場所にインストールされます。お使いの Cubase のインストール先にテンプレートをコピーしてお使いください。

Windows:

C:\Program Files\Steinberg\Cubase 4\templates
C:\Program Files\Steinberg\Cubase AI 4\templates

Macintosh:

/アプリケーション/Cubase 4.app/Contents/templates/
/アプリケーション/Cubase AI 4.app/Contents/templates/

TOOLS for MRのご使用条件

ヤマハ株式会社（以下「ヤマハ」といいます。）では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、〈ソフトウェア使用許諾契約〉を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。本ソフトウェアのディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、インストール、コピー、その他のご使用はおやめください。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

ヤマハはお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、ヤマハまたはヤマハのライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- ・ お客様が自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用することができます。
- ・ バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的のみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されているヤマハの著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- ・ お客様は、製品本体を第三者に譲渡する場合に限り、付属品である本ソフトウェアを使用する権利を、同じ第三者に譲渡できます。ただし、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- ・ ヤマハの許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用 MIDI データ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、ヤマハからの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

本ソフトウェアがディスク等の媒体で販売された場合や、ディスク等の媒体で製品に同梱された場合には、ヤマハは、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から 14 日間に限り（お受け取りの日は、受領書の写しで証明される日とします）、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用などヤマハの責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。ヤマハはそれ以上の保証はいたしません。

5. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

6. 責任の制限

ヤマハの義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

ヤマハは、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別な損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対するヤマハの責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を超えることはありません。

7. 第三者のソフトウェア

ヤマハは、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、ヤマハによるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- ・ ヤマハは、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- ・ ヤマハは、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- ・ ヤマハは、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別な損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

8. 一般事項

本契約条項は、ヤマハの権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

Cubase AI 4 のご使用条件

Steinberg ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約 (EULA)

概要

本ソフトウェアに含まれる知的財産はすべて Steinberg Media Technologies GmbH (スタインバーグ・メディア・テクノロジーズ社) (以下「Steinberg」という) とそのサプライヤーに帰属し、Steinberg は、本契約の諸条件に従いユーザーに本ソフトウェアをコピー、ダウンロード、インストールおよび使用することを、これに限定して許可するものとします。**不正コピーに対する保護として本ソフトウェアはプロダクト・アクティベーション機能を備えていることがあり、アクティベーション作業が完了した場合のみ本ソフトウェアを半永久的に使用することができます。**本ソフトウェアは Steinberg Key (ドングル) および Soft-eLicenser のいずれかもしくは両方を使用しないと起動することができません。また OEM 製品の使用には個人登録が必要となります。トライアル・バージョンのソフトウェアについては、30 日間の制限の中でご使用頂くことができます。本製品に対する個人登録を行ってはいじめて本製品に対するサポート、アップグレードおよびアップデート・サービスを受ける権利が取得できます。アクティベーション作業を行なうにはインターネット接続が必要です。ユーザー、すなわち、「ライセンシー」(使用許諾権所持者) が Steinberg ソフトウェアおよびハードウェアを使用する条件は以下に明示するとおりです。本ソフトウェアをユーザーのコンピュータにインストールした時点で、ユーザーはかかる条件を承諾したことになります。下記文章をすべてよく読んでください。これらの条件を受け入れられない場合、本ソフトウェアのインストールを行わないでください。この場合、本製品 (これに付属されていた全ての印刷資料、完全な状態の包装材料およびハードウェアを含む) を 14 日以内に購入した販売店に返品して購入金額の払戻しを受けてください。

1. 定義

1-1. 「ソフトウェア」には (i) ソフトウェア・ファイルおよび Steinberg とサードパーティー各社によって付属される、その他すべての情報、(ii) 本ソフトウェアに含まれるデモ・ソングならびにオーディオおよびビデオ・ファイル、(iii) これらに付属する文書 (マニュアル) (iv) すべての修正 (アップデート) 版およびコピーが含まれます。また、機能拡張のためのアップデート、アップグレード、パッチなどの形で Steinberg が提供するものもこれに当たりますが、これらについても本規定が共通して該当するものとします。

1-2. 本ソフトウェアおよびユーザーが作成する本ソフトウェアの許可される範囲のコピーは、すべて Steinberg とそのサプライヤーの知的財産とします。本ソフトウェアの構造、構成およびコードは Steinberg とそのサプライヤーの貴重な企業機密です。本ソフトウェアは特にドイツ連邦共和国およびその他の国々の著作権法はもとより国際協定によっても法的に保護されています。

2. ライセンスの付与

2-1. Steinberg は本契約条件に従い本ソフトウェアの使用についての非独占的ライセンスをユーザーに対して付与します。ただしユーザーは、本ソフトウェアを賃貸、貸借またはその再使用許諾契約を締結することはできません。

2-2. ループファイルと呼ばれるサンプルデータや MIDI データは Big Fish Audio 社、Yamaha、およびその他の会社または個人がそれぞれ所有権を保持しており、その使用については、使用ライセンスを持つユーザーがそれらサンプルデータや MIDI データを自己の二次的音楽作品の一部として取り込み、ライブ、録音演奏用作品を作成することを目的とする場合のみ、Steinberg によりライセンスが許可されます。本ライセンスではサンプルデータや MIDI データの使用と修正変更、およびサンプルデータや MIDI データの著作権保有団体もしくは著作権保有者の権利侵害が無いことを条件として、作成された二次的音楽作品を市販することが認められます。これらのサンプルデータや MIDI データはたとえ修正変更前であっても、また二次的音楽作品の一部としても、サンプルデータや MIDI データを集めたライブラリー製品に組み入れてはなりません。

2-3. 本ソフトウェアが Steinberg key のみにより保護されている場合、ユーザーはユーザーが所有する 1 台から、最大 3 台までのコンピュータに本ソフトウェアのライセンスをインストールすることができます。Steinberg Key を使用して本ソフトウェアを同時に使用できるのはこれらのコンピュータのうち 1 台のみです。(i) 本ソフトウェアが Soft

eLicenser により保護されている場合 (同時に Steinberg key により保護されているか否かは問いません)、また (ii) 他のソフトウェアやハードウェア (以下「OEM ソフトウェア」という) に同梱されユーザーが新品として購入した場合、または、(iii) ソフトウェアが 30 日間の制限の中でのみ使用可能な場合 (以降「トライアル・バージョン」と表記します。) は、ユーザー所有のコンピュータのうち一台のみで本ソフトウェアのインストールおよびライセンス使用が可能となります。

2-4. ネットワーク上での本ソフトウェアの使用は、当該プログラムが同時に複数のユーザーによって使用される可能性がある場合違法となります。

2-5. 保管以外の目的に使用しない限り、ユーザーは本ソフトウェアのバックアップコピーを作成することができます。

2-6. ユーザーが本ソフトウェアを使用できる権利またはそれによって得る利益は本契約に明記された権利に限定されます。Steinberg とそのサプライヤーは明確に付与されていない全ての権利を保有するものとします。

2-7. Steinberg 製品には Fraunhofer 社の MP3 互換のコーデック技術が含まれています。以下 Thomson Licensing S.A. の参照です。

この製品の供給は、利益を得る放送システム (地上波、衛星放送、ケーブルテレビやその他の配信チャンネル)、ストリーミング・アプリケーション (インターネット、イントラネット、その他のネットワーク)、その他の配信システム (有料、オンデマンド等のアプリケーション)、物理的なメディア (CD-ROM、DVD、半導体チップ、ハードドライブ、メモリカード等) に関して、この製品で作成されたコンテンツを配布するライセンスを与えないし、いずれの権利も意味しません。

そのような使用をする為には独自の許可が必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com> を参照してください。

3. 本ソフトウェアのアクティベーション

3-1. Steinberg は、ライセンス管理を目的とし、不正コピーから本ソフトウェアを保護するため、本ソフトウェアのアクティベーションおよび OEM ソフトウェアのユーザー登録を義務付けることがあります。ユーザーが本契約の条件に同意しない場合、本ソフトウェアは起動しません。

3-2. この場合、本ソフトウェアを入手してから 14 日以内を条件に返品することができます。返品した場合、第 11 条に基づく請求は適用されません。

4. 製品登録後のサポート、アップグレードおよびアップデート

4-1. ユーザーは本製品に対する個人登録の完了を条件に本製品に対するサポート、アップグレードおよびアップデートを受けることができます。サポートは現行バージョンおよび新バージョンの発表後 1 年以内の前バージョンについてのみ提供されます。Steinberg は、サポートの対象範囲および提供方法（電話、ウェブサイト上のフォーラム等）を一部または完全に変更することができます。トライアル・バージョンのソフトウェアには、個人登録、サポート、アップグレード、およびアップデートは提供されません。

4-2. 製品登録はアクティベーションの過程またはインターネットを通して後日いつでも行うことができます。製品登録の過程においてユーザーは、上記に明記した目的でユーザーの個人情報（氏名、住所、連絡先、E メール・アドレス、誕生日およびライセンス情報）を保管、使用することに同意することが求められます。また Steinberg は、サポートの目的およびアップグレードまたはアップデートの権利を確認するため、これらのデータに関連する第三者、特にディストリビューターへ送ることができるものとします。

4-3. ユーザーの在住地域が EU 以外の地域である場合、データは EU 内で適用されるデータ保護レベルと同等の保護レベルを保証しない国における第三者に対しても送ることができるものとします。

5. ライセンス・モジュール(Steinberg Key、Soft eLicenser のいずれかもしくは両方)

5-1. Steinberg は、ユーザーが多数の製品を所持している場合にも、一括でライセンス管理が可能な、コンピュータの USB ポートに接続して使用するハードウェア・デバイス（以下「Steinberg Key」という）および保護機能ソフトウェア（以下「Soft eLicenser」という）のいずれか、もしくは両方（ハードウェア/ソフトウェア・ dongle）を使用します。「Steinberg Key」および Soft eLicenser は、ライセンス情報を半永久的に記憶し、ソフトウェアに対するアクセスを規制します。本ソフトウェアを使用するため Steinberg Key が必要な場合、Steinberg Key を USB インターフェイスを介してコンピュータに接続しなければなりません。

5-2. 本ソフトウェア、またはソフトウェアのアップデート、アップグレードのアクティベーションを行うには、Steinberg Key と接続しているか、もしくは Soft eLicenser、OEM ソフトウェア製品いずれかをインストールしているコンピュータでインターネットを通して SIA Syncrosoft 社のサーバーへ接続しなければなりません。本ソフトウェアに Steinberg Key が付属している場合、本ソフトウェアのライセンス情報は既に付属の Steinberg Key にアクティベーションされています。本ソフトウェアに「Steinberg Key Activation Code」と記されたカードのみが付属している（Steinberg Key が付属していない）場合、ユーザーはインストールを行った後に、付属されているカードに記入されているアクティベーション・コードを入力し、本製品のライセンス情報を SIA Syncrosoft 社のサーバーから取得し Steinberg Key をアクティベーションしなければなりません。

5-3. OEM ソフトウェア製品の場合、アクティベーション・コードはユーザーが登録した E メール・アドレスに送信されます。本コードはインストールの際、手動で入力する必要があり、これにより SIA Syncrosoft のサーバーとの間でライセンス情報の交換がおこなわれるようにします。

5-4. ソフトウェアをインストールしていたコンピュータ、またはそれ以外の他のコンピュータへのソフトウェアの再インストールについては、インストールされていた当該ソフトウェアがアンインストールされるなど、使用が不可となった場合にのみ許可されます。当該ソフトウェアが Steinberg key ではなく、アクティベーション・コードを必要とする場合、新規のアクティベーション・コードは個人登録の際に作成されたユーザー・オンライン・サポート・アカウントから入手することができます。なお、このアクティベーション・コードは再インストールの際、ユーザーが手動で入力する必要があり、これにより SIA Syncrosoft のサーバーとの間でライセンス情報の交換が行われるようにします。Steinberg は追加のアクティベーション・コードの提供にあたっては、購入記録（請求書、領収書）や住所、氏名および以前にインストールされたソフトウェアが使用不可になったことを証明する旨の署名入り確認書をファックスもしくは郵便にて送付するようお願いする場合があります。トライアル・バージョンのソフトウェアに関しては、別のコンピュータにインストールした場合においても、合計で 30 日間のみご使用頂くことができます。

5-5. またユーザーは、ソフトウェアが Steinberg key を使用している場合には、本ソフトウェアをインストール（使用するコンピュータ以外のコンピュータを使用してアクティベーションを実行し、ライセンスデータを Steinberg Key へ送ることができます。しかしその場合、アクセス用ソフトウェア（Syncrosoft License Control Center “LCC”）をインターネットに接続したコンピュータにインストールしなければなりません。これについては別途定めるライセンス契約に従うものとします。

6. Steinberg Key の欠陥および紛失

6-1. Steinberg Key に欠陥がある場合またはこれが破損している場合、Steinberg または Steinberg と関連するサードパーティー各社は、Steinberg Key（現物）の確認を行います。確認の結果その申し立てが正当であると判断された場合、Steinberg Key およびこれに含まれるライセンスは手数料（実費）のみで交換されるものとします。ただし、ライセンスの交換は Steinberg が発行したライセンスであることを条件とします。Steinberg は、以上を限度とし、これに対する更なる申し立てについては排斥します。

6-2. ユーザーの責任においての紛失、盗難またはその他の原因で Steinberg Key を紛失した場合、Steinberg は責任または義務を一切負わないものとします。Steinberg は登録ユーザーから紛失について通知を受け次第 Steinberg Key に保存されているライセンスの使用を禁止する権利を保有します。ただし、Steinberg Key に保存されているライセンスは交換の対象になりません。

7. 本ソフトウェアの修正変更

7-1. 本ソフトウェアの修正変更は計画されたその機能に従い本ソフトウェアが修正変更に対応できる場合にのみ認められます。ユーザーは、法律により認められていない限り、本ソフトウェアのソースコードを割り出すため、本ソフトウェアの逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、あるいはその他の方法を試みることは許されません。また、ライセンス・モジュール（Steinberg Key、Soft eLicenser のいずれかもしくは両方）のアクティベーション機能あるいはその使用を回避する目的で本ソフトウェアのバイナリコードを修正変更することは、いかなる方法にかかわらず、これを行ってはなりません。

8. アンバンドリングの禁止

- 8-1. 通常本ソフトウェアにはさまざまな異なるファイルが含まれ、その構成が本ソフトウェアの完全な機能を保証します。本ソフトウェアは 1 つの製品としてのみ使用することができます。ユーザーは、本ソフトウェアの構成要素をすべて使用またはインストールする必要はありません。ユーザーは、新規に本ソフトウェアの構成要素を転用して本ソフトウェアの修正版またはその結果として新規製品を開発することは許されません。本ソフトウェアの構成要素を頒布、譲渡または再販の目的で修正変更することはできません。
- 8-2. また、ユーザーは、Steinberg Key をライセンスとして切り離して個別に販売することはできません。使用許諾権は常に本ソフトウェア、特にオリジナルのソフトウェア・データが収録されている媒体 (CD、DVD など) に帰属します。

9. 権利譲渡

- 9-1. ユーザーは、本ソフトウェアを使用する全ての権利を次の条件に従い他者に譲渡することができます。
- (a) 他者に対してこれを譲渡する場合 (i) 本契約および (ii) 本ソフトウェアをアップデートまたはアップグレードする権利とともに、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアが付属もしくはプリインストールされたハードウェア (コピー、アップグレード、アップデート、バックアップ・コピーおよび旧バージョン全てを含む) を譲渡すること。
- (b) 本ソフトウェアのアップグレード、アップデート、バックアップ・コピーおよび旧バージョンを保持しないこと。
- (c) ユーザーが有効なライセンスを取得するために従った本契約の条件およびその他の規定を譲受人が受諾すること。
- 9-2. 例えば、プロダクト・アクティベーションの実施において本契約条件を受諾できないことによる本ソフトウェアの返品は、権利が譲渡されると不可能となります。

10. アップグレードおよびアップデート

- 10-1. 本ソフトウェアのアップグレードまたはアップデートの使用について許可を受けるには、本ソフトウェアの旧バージョンまたは下位バージョンに対する有効なライセンスを所有している必要があります。トライアル・バージョンのソフトウェアに関しては、アップグレード、アップデートともに対象外です。本ソフトウェアの旧バージョンまたは下位バージョンを第三者に譲渡した時点で、本ソフトウェアのアップグレードまたはアップデートを使用する権利は失効します。
- 10-2. アップグレードまたはアップデートを取得しても、それにより本ソフトウェアを使用する権利が付与されるものではありません。
- 10-3. 本ソフトウェアの旧バージョンまたは下位バージョンに対するサポートを受ける権利は、アップグレードまたはアップデートをインストールした時点で失効します。

11. 限定保証

- 11-1. 欧州連合 (EU) 域内における本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーに対する保証については第 11-2 項に明記されており、EU 以外の地域における本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーに対する保証については本契約の第 11-3 項に明記されています。
- 11-2. EU 域内における限定保証：本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーが EU 域内に在住する場合、下記責任制限が適用されます。
- 11-2-1.
Steinberg が本ソフトウェアをエンドユーザーとしてのユーザーに直接販売した場合、Steinberg は本ソフトウェアが受領され次第同封された説明書に記載された機能を基本的に実行することを保証します。ただし本ソフトウェアが OS およびコンピュータ・ハードウェアの必要動作環

境に従い使用されることを前提とします。前記説明書に記載された機能から本ソフトウェアの機能が若干異なることがあっても、それは保証に対する請求の対象から除外されます。またこれ以外の文書および言明は、本製品の構成に関する参考にはなりません。

11-2-2.

ユーザーが EU 域内の消費者である場合、製品の欠陥に対する制定法に基づく保証が適用されます。ユーザーが業務上使用している場合、Steinberg は 1 年以内にその自由裁量で義務のさらなる履行 (改善または代替品の提供) など、本製品の瑕疵に対する保証を提供します。ただし、トライアル・バージョンのソフトウェアは保証対象外です。

- 11-3. EU 以外の地域における限定保証：本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーが EU 以外の地域に在住する場合、下記の責任制限が適用されます。

11-3-1.

Steinberg は本契約に従い本ソフトウェアの使用に関するライセンスを最初に取得する者に対して本ソフトウェアを受領してから 90 日の期間、本ソフトウェアが受領され次第同封された説明書に記載された機能を基本的に実行することを保証します。ただし本ソフトウェアが OS およびコンピュータ・ハードウェアの必要動作環境に従い使用されることを前提とします。本ソフトウェアの機能が説明書に記載された機能と若干異なることがあっても、それは保証に対する請求の対象から除外されます。またこれ以外の文書および言明は本製品の品質に関する限り意味を持ちません。

11-3-2.

本ソフトウェアが説明書に記載されている機能を完全に実行できない場合、Steinberg に対する保証請求および Steinberg の義務についての対応に関しては、Steinberg の自由裁量によるソフトウェアの交換または販売価格の払戻しにより補償されるものとします。

11-3-3.

ユーザーが在住する国の法律に従った更なる保証義務については、この限りではありません。ただし、トライアル・バージョンのソフトウェアは保証対象外です。

12. 責任制限

- 12-1. EU 域内に在住する本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーに対する責任制限は本契約第 12-2 項に明記されており、EU 以外の地域に在住する本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーに対する責任制限は本契約第 12-3 項に明記されています。
- 12-2. EU 域内における責任制限：本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーが EU 域内に在住する場合、下記の責任制限が適用されます。

12-2-1.

法的根拠の如何に関わらず、Steinberg は以下の規定に従って補償に応じるか、または無益な費用を避ける措置を実行することに限定されます。

12-2-2.

Steinberg は、Steinberg の法定代理人、管理職従業員またはその他の代理人による意図的または重大な怠慢がもたらす損害ならびに死亡、人身傷害および保証の引受け、または調達リスクから生じる健康傷害ならびに製造物責任法に基づく損害における責任に対して責任を負うものとし、その他の代理人による重大な怠慢がもたらす損害の場合、これに対する責任は、本契約など、一般的な契約範囲で通常予想される損害に限定されるものとし、本契約では、これを超越する責任は排除されるものとし、

12-2-3.

損害が Steinberg の意図的または重大な怠慢によるものではない場合、Steinberg は、ある義務に対する違反行為があった場合で、義務の履行が契約目的を達成するため特に重要である場合（極めて重要な義務）に限り、これに対して責任を負うものとします。この場合、前記第 12-2-2 項の 2 および 3 文目が適用されます。トライアル・バージョンのソフトウェアの場合は、本項目の損害に対する責任の範囲外です。

12-2-4.

データの遺失に対する責任の範囲は、データが適切かつリスクに対応するよう保管がされていたか否かを考慮した上で、当該データの回収に要する一般的費用と努力に限定するものとします。

12-2-5.

また、Steinberg のこの責任制限は、請求が Steinberg の従業員に対して直接提起された場合、彼らの利益のため適用されるものとする。

- 12-3. EU 以外の地域における責任制限：本ソフトウェアの最初の購入者としてのユーザーが EU 以外の地域に在住する場合、下記の責任制限が適用されます。

12-3-1.

前記の権利を除き、Steinberg または Steinberg が認定したディストリビュータは、事業中断、人身傷害または過失もしくは第三者による請求から発生する間接損害を含む損失、損害、全ての請求または費用および直接または間接的損害に対して、たとえ Steinberg の代表者が、損失、損害、費用または請求の可能性について通知を受けていたとしても、これに対して責任を負わないものとします。この制限は、本契約に対する基本的違反が発生した場合も適用されるものとします。

12-3-2.

本契約の文脈における Steinberg およびそのディストリビューターの全責任は、本ソフトウェアに対して支払われた金額に限定されるものとします。

12-3-3.

前記制限は、責任の制限が容認されていない国においては適用されません。

13. 侵害

ユーザーの本ソフトウェアの使用に対して第三者が申し立てを起こした場合、速やかに書面で Steinberg にその旨を通知しなければなりません。Steinberg は、ユーザーが Steinberg を妥当に支援する限り、ユーザーを弁護します。

14. 最終条項

- 14-1. 本契約は両当事者間の主題に関する完全な了解事項を制定するものです。付帯契約は締結されていません。
- 14-2. 本契約に対する補足および修正は書面により行うものとします。また、本契約に含まれるいかなる要求事項に対する権利放棄についても書面で行うものとします。
- 14-3. 本契約のいかなる規定もその全部または一部が無効とされた場合、これにより残りの規定の適法性が影響を受けることはないものとします。無効とされた規定は当初計画された取引上好ましい目的にでき得る限り近い有効な規定と両当事者により差し替えられるものとします。これは脱落文言についても適用されるものとします。
- 14-4. 本契約はドイツ連邦共和国法に準拠し、同法に基づき解釈するものとし、国際物品売買に関する国連協定 (CISG) は適用されません。

- 14-5. 本契約に基づく、または本契約に関連する全ての紛争に対する専属管轄地はハンブルグとします。Steinberg はユーザーが在住する管轄区域においてユーザーに対する訴訟を起こすことができます。

資料

仕様

電気的特性

サンプリング周波数	Internal	44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz	
	External	44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz(各±0.1%)	
全高調波歪	GAIN : 最小	0.004%以下 (1kHz @ +18dB、負荷 : 600Ω)	
周波数特性 (CH IN → LINE OUT)	fs=48kHz	20Hz ~ 20kHz、+1、-3dB @ +4dB、負荷 : 600Ω	
	fs=96kHz	20Hz ~ 40kHz、+1、-3dB @ +4dB、負荷 : 600Ω	
ダイナミックレンジ (最大レベル出力時のS/N比)		104dB DAコンバータ (LINE OUT) 97dB AD+DA (→ LINE OUT)	
ハム&ノイズ (20Hz ~ 20kHz) Rs=150Ω		-118dB 等価入力ノイズ	
		-86dB 残留出力ノイズ、Output fader : 最小	
		GAIN : 最大 PAD : オフ	-86dB(90dB S/N) LINE OUT Output channel fader : ノミナル、All input channel fader : 最小
		GAIN : -60dB PAD : オフ	-53dB(57dB S/N) LINE OUT Output channel fader : ノミナル、Input channel fader (One channel) : ノミナル
最大利得		84dB CH1 ~ 8 → LINE OUT	
クロストーク @ 1kHz	GAIN : 最小、入力チャンネル間	-85dB CH1 ~ 8	

入出力仕様

アナログ入力	Type	入力レベル		
		定格入力レベル	最大入力レベル	入力インピーダンス
MIC/LINE/ HI-Z 端子 1、 MIC/LINE 端子 2、MIC/LINE IN 端子 3 ~ 8 (CH 1 ~ 8)	XLR タイプ、バランス型 +48V ファンタム電源供給	-60dBu ~ +10dBu	+24dBu	3.5kΩ
INSERT I/O 端子 1、2 (INSERT IN)	TRS フォーンタイプ、アンバランス型	0dBu	+14dBu	10kΩ

アナログ出力	Type	出力レベル		
		定格出力レベル	最大出力レベル	定格負荷 インピーダンス
OUTPUT 端子 (LINE OUT) 1 ~ 8	TRS フォーンタイプ、バランス型	+4dBu	+18dBu	600Ω
INSERT I/O 端子 1、2 (INSERT OUT)	TRS フォーンタイプ、アンバランス型	+4dBu	+18dBu	10kΩ
ヘッドフォン端子 1、2	TRS フォーンタイプ、アンバランス型	4mW + 4mW	25mW + 25mW	8Ω
		12mW + 12mW	75mW + 75mW	40Ω

一般仕様

電源条件	40W (PA-30)
最大外形寸法 (H x D x W)	44 x 305 x 480 mm
質量	3.2kg
動作環境温度	+5 ~ +35 °C
付属品	電源アダプター (PA-30またはヤマハ推奨の同等品)
	DVD-ROM (Cubase AI 4)
	CD-ROM (TOOLS for MR)
	MR816 CSX/MR816 X セットアップガイド
	保証書
	IEEE1394 ケーブル
	ゴム脚 x4 (Rubber foot x4)

機能

入力チャンネル CH1 ~ 8	アナログ入力	
	MIC プリアンプ	Discrete Class-A MIC プリアンプ (インバーテッドダーリントン回路)
	[+48] ボタン	+48V DC
	[PAD] ボタン	0/26dB
	ゲインノブ	44dB 可変 (-60dB ~ -16dB)
	PHASE	正相 / 逆相、ソフトウェアコントロール
	ハイパスフィルター	OFF/80Hz(-12dB/oct.)、ソフトウェアコントロール
	[HI-Z] スイッチ	ON/OFF(CH1)、入力インピーダンス : 500k Ω
	AD コンバータ	24bit リニア、高性能デュアルビットデルタ / シグマ変換
	[SIG/PEAK] ランプ	-3dB 以上 (赤)、-40dB ~ -3dB (緑) (クリッピングポイントを0dB とした場合)
出力チャンネル CH1 ~ 8	アナログ出力	
	レベルコントロール	マルチファンクションエンコーダーノブでのコントロール (全1 ~ 8チャンネル同時) ソフトウェアコントロール (各1 ~ 8チャンネル)
	DA コンバータ	24bit リニア、128 倍オーバーサンプリング高性能マルチビットデルタ / シグマ変換
ヘッドフォン端子 1、2	レベルコントロール	マルチファンクションエンコーダーノブでのコントロール (各ヘッドフォン端子 1、2)
	最大出力レベル	25mW (@ 8 Ω) / 75mW (@ 40 Ω)
IEEE1394 端子	オーディオ I/F	16-ch input/16-ch output

ユーザーサポートサービス

ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、本製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。

ユーザー登録手続きは、スタインバーグ・ホームページ内の『MySteinberg』で行ないます。初めて『MySteinberg』をご利用される場合は、アカウント作成が必要です。

スタインバーグ・ホームページ (MySteinberg)
http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/register_j

- ユーザー登録には、製品本体のシリアル番号 (SER No.) が必要になります。シリアル番号は、本体の上面に記載されています。
- ご登録いただいた個人情報につきましては、ご購入製品のサポート、ご購入製品や関連製品のご案内、及びご購入者分析に利用いたします。

住所 / 氏名 / メールアドレスの変更 (同一使用者の範囲内)

ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」、「メールアドレス」などを変更された場合も、『MySteinberg』でお手続きください。

質問の受付

スタインバーグ製品は、常に新技術 / 高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるように製品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究 / 改善いたしております。

しかし、一部高機能な製品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験を必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目はオペレーションマニュアルに解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではスタインバーグインフォメーションセンターを開設いたしております。お気軽にご利用いただきますようご案内申し上げます。

お問い合わせの際には、「製品名」、「MySteinberg のユーザーネーム」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」「製品のシリアル番号 (SER No.)」をお知らせください。

スタインバーグ・インフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1
 ヤマハ (株) スタインバーグ インフォメーションセンター
 TEL : 053-460-5270
 受付日 : 月曜日～金曜日 (祝祭日およびセンターの休業日を除く)
 受付時間 : 13:00 ~ 18:00

スタインバーグ製品の日本語ホームページ (WEB の質問受け付け窓口)

<http://japan.steinberg.net/>

- * ユーザーサポートサービスは日本国内においてのみ有効です。
- * テクニカルサポートはサポート期間内の製品に限らせていただきます。

Cubase AI (付属ソフトウェア) については、スタインバーグ・ホームページの情報をご覧ください。製品に関するサポート情報や、最新のアップデートのダウンロード、FAQなどを公開しております。

Cubase AIの [ヘルプ (Help)] メニューからSteinberg社のホームページにアクセスできます。(ヘルプメニューには、Cubase AIのPDFマニュアルなども掲載されています。)

● 営業窓口 LM 営業部お問い合わせ先

ヤマハ株式会社

国内営業本部 LM 営業部 企画推進室

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11
 TEL. (03) 5488-5430

PA・DMI 事業部 MP 推進部 マーケティンググループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1
 TEL. (053) 460-2432

スタインバーグ・ホームページ

<http://japan.steinberg.net/>

お客様サポート&サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/steinberg/>

* 名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

■ 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡しますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お持込み窓口)

◆ 修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理ご相談センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00

土曜日 9:00～17:30

(祝祭日および弊社休業日を除く)

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

市内通話料でOK ナビダイヤル ※一般電話、公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

(IP電話、携帯電話などからおかけになる場合 TEL 053-460-4830)

FAX 053-463-1127

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45

(浜松サービスステーションは 8:45～17:30)

(祝祭日および弊社休業日を除く)

* お電話は、電気音響製品修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒064-8543 札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1-50

ヤマハセンター内

FAX 011-512-6109

首都圏サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島 2 丁目 1-1

京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F

FAX 03-5762-2125

浜松サービスステーション

〒435-0016 浜松市東区和田町 200

ヤマハ(株)和田工場内

FAX 053-462-9244

名古屋サービスセンター

〒454-0058 名古屋市中川区玉川町 2 丁目 1-2

ヤマハ(株)名古屋倉庫 3F

FAX 052-652-0043

大阪サービスセンター

〒564-0052 吹田市広芝町 10-28

オーク江坂ビルディング 2F

FAX 06-6330-5535

九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前 2 丁目 11-4

FAX 092-472-2137

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

MEMO

Steinberg Web Site
<http://japan.steinberg.net/>

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2008 Yamaha Corporation